

「東讃地域の事業所における健康管理に関する実態調査」 (抜粋版)

目的

- 1) 東讃地域の事業所等における健康管理の実態を把握する
- 2) 調査結果から課題解決のための効果的な支援方法を検討し提案する

調査期間

R3.12.18~R4.1.31 (R3.12.17発送)

配布数

466事業所

回収数

221 (さぬき市72、東かがわ市82、三木町28、直島町39)

回収率

47.4%

有効回答数

201

回答者(役職)

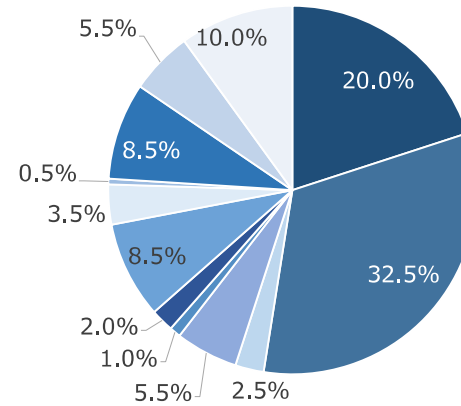
事業主	87
衛生管理者	23
安全衛生推進者	8
その他	73
未回答	9

(その他)

課長2、看護師、監査役、管理部門担当者5、経理担当者5、健康づくり担当者、事業主の配偶者、事務員23、専務取締役2、総務担当者10、代表者、代表取締役、取締役6、役員2、労務担当者

1

業種

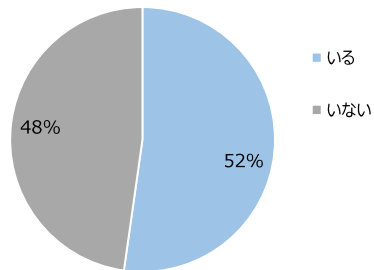


- 建設業
- 製造業
- 電機、ガス、熱供給、水道業
- 運輸業、郵便業
- 金融業、保険業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- 総合サービス事業
- その他

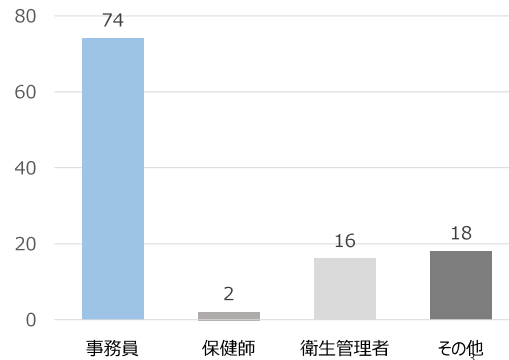
2

健康管理担当者

問4 健康管理担当者の有無

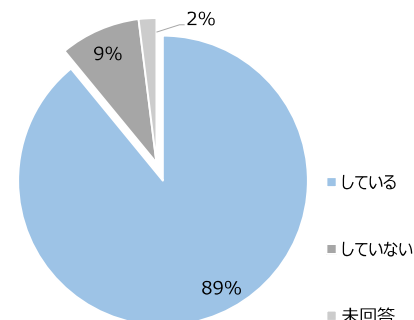


問5 健康管理担当者の職種 (複数回答)

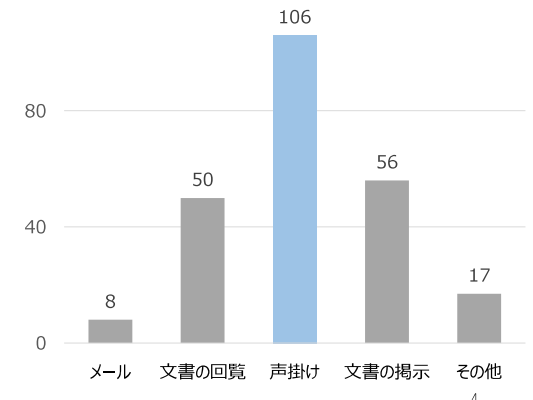


受診勧奨

問6 健診の受診勧奨



問7 受診勧奨方法

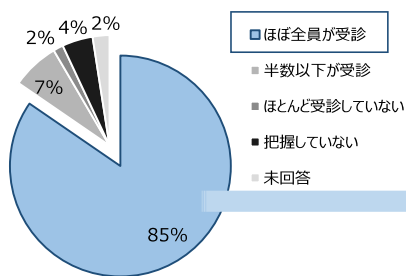


4

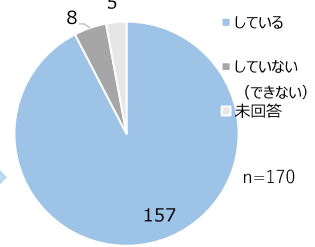
健診の受診状況・結果の把握

ほぼ全員が受診	170
半数以下が受診	14
ほとんど受診していない	3
把握していない	9
未回答	5

問8 健診の受診状況



問9 健診結果の把握
(問8で1と回答した場合のみ)

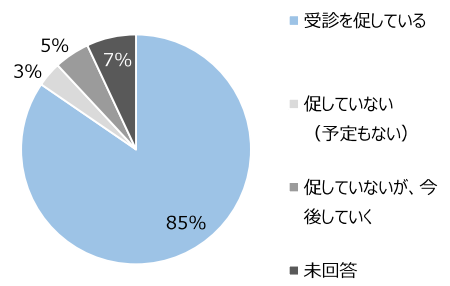


健診結果を把握していない(できない)理由

- 健診結果の提出を強制しておらず、社員からの自主報告としているため
- 本人に直接結果が送付されるため、健診結果が会社にはない。

精密検査等への対応

問12 精密検査・再検査が必要となった従業員への対応

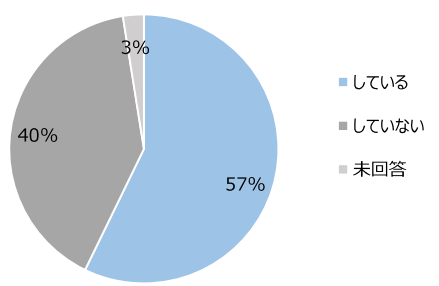


精密検査等が必要となった従業員へアプローチしていない(できない)理由

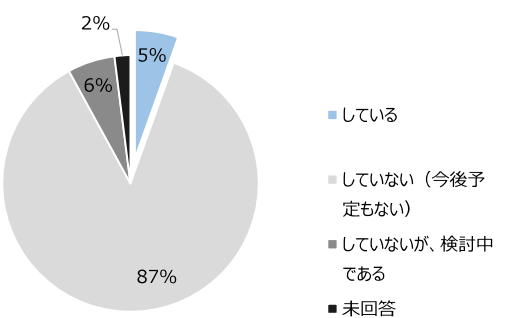
- 検査結果に関すること**
- 検査結果が分からない
- 個人に関すること**
- 個人情報の為
 - パート従業員の為個人の事は聞いていない
- その他**
- 対象者が聞き入れない。

健診結果のとりまとめや活用/歯科健診

問14 健診結果のとりまとめ等

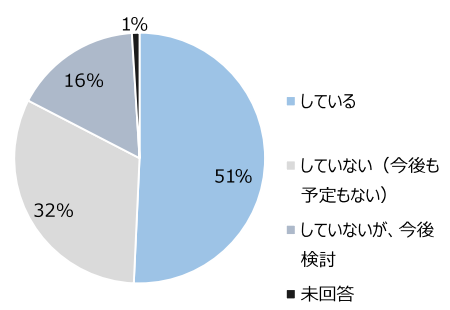


問15 歯科健診の実施状況

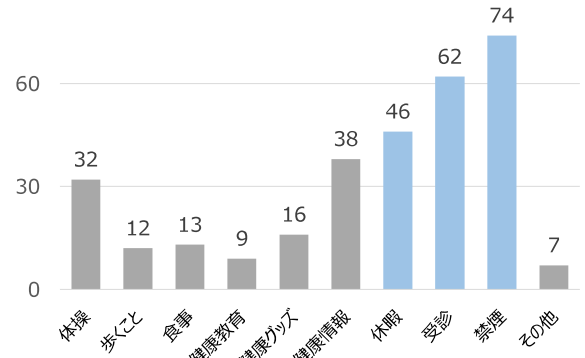


健康づくりに関する取組

問16 健康づくりに関する取組



問18 取組内容(複数回答)



健康づくりに関する取組を行っている理由

健康

- 健康でないと仕事ができない、従業員の健康が一番だから
- 転倒などの事故防止のため、健康増進のため

経営

- 健康経営活動の積極的な推進
- 従業員が健康で長く働くことが事業の安定した継続に重要、会社の利益にもつながると感じたから。
- 社外にアピールすることで採用に繋がると考えたから。

既存の事業の活用等

- 健康保険組合で健康づくりに関する指導や活動が比較的に活発に行われているため、それを活用している。
- 香川産業保健総合支援センターより地域の医師との健康指導の面談を受けている。

その他

- 高齢の社員が多いため
- 今後年齢を重ねていく過程で成人病の可能性もあるため

行っていない理由

時間・人手不足

- 時間や教材がない為
- 人手不足であるし、個人的なことに関わりにくい。
- 業種柄、皆でまとまった活動をしづらい（交代制勤務なので集まって何かをする時間をとりにくい）

自己責任

- 各自に任せている。
- プライベートな部分（持病含む）で全員が取り組めない状態にあるため。
- 各自現場に出ると行動がわからない為

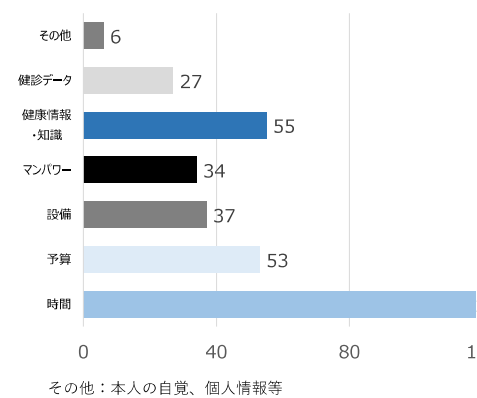
その他

- 検査結果が分からない為
- 担当部門がはっきりしていない
- コロナ禍のためできていない

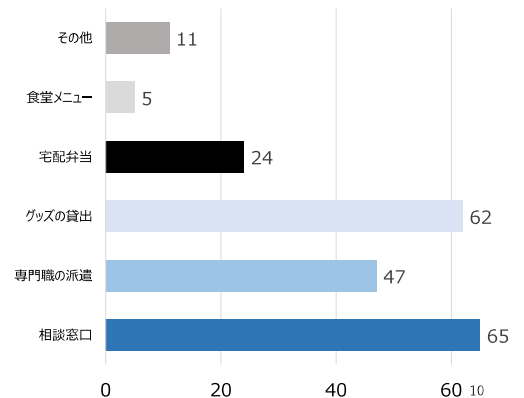
9

推進するにあたっての課題/必要な支援

問19 課題（複数回答）



問20 必要な支援（複数回答）

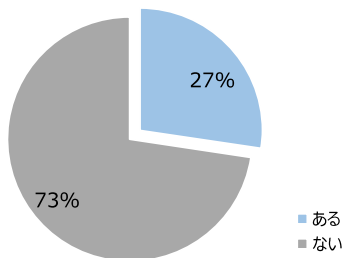


コロナ禍における健康管理について

①今までと変わったこと

問23 コロナ禍における健康管理

①今までと変わったこと



健診

- 健診や検査の予約が取りにくくなった
- 胃カメラが受診できない。（バリウムに変更になった）
- 再検査を積極的に受診を勧められない時期があった。
- 病院に行きにくくなった。

健康づくり

- 健康セミナー等の一斉実施ができなくなった。
- スポーツイベント等、大人数が集まる取組ができなくなった。
- コロナ禍でジムなどを控え運動不足になる人も出ている。
- 自炊は増えたがインスタントに頼る機会も増えた。

感染対策

- 県外出張者への抗原検査実施
- マスク着用、消毒等の実施、手洗い、うがい、体温測定、3密回避等
- 出張、県外への外出の基準
- いろいろな備品の購入が必要になり大変だった。
- コロナで感染症に対する問題意識が高まり気を付けるようになった。

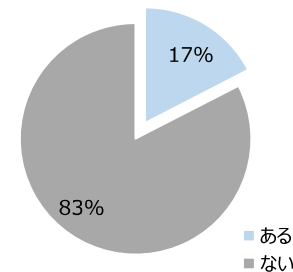
11

コロナ禍における健康管理について

②困ったこと

問23 コロナ禍における健康管理

②困ったこと



健診

- 密を避ける為少人数づつ健康診断になり時間がかかった。
- 胃検査での胃カメラの予約がとれなかった。
- 病院の受診ができなかった

感染対策

- 外国人実習生に病気に対する説明に時間がかかった。
- 感染対策費用の捻出
- 従業員もしくは来客者へ対応、ルール、人員配置
- 長時間マスク着用による肌トラブル、社員の体調不良に周りが気付きにくい。

健康づくり

- 行事（体質改善）ができない
- ジムなどの施設に行きづらい、行けない。
- 精神的に自分、家族、職場とコロナに関して負担がかかり、ストレスを持っている職員が多く見られる。

その他

- 健康管理に関する全社員への呼びかけが難しくなった。
- ワクチン接種についての意識

12